

令和6年度支援計画 振り返り ソラ

令和 7 年 4 月 1 日

集団活動では話し合いを取り入れ、自分の意見を伝える力、相手の話を聞く力を身に付ける。

活動目標 活動のスケジュールや準備、役割等、段取りする力を養う。

公共施設、交通機関でのルールやマナーを理解し、実践する。

受け入れ施設の都合や感染症の流行等により、支援内容をやむを得ず変更する場合があります。

5領域	ねらい		まとめ
健康・生活	健康状態の維持・改善	健康状態の把握 健康の増進	職員から利用者にうがい手洗い、消毒の動作の手本を示し、徹底する意味や良さやを伝えたことで自主的に感染症予防に取り組めるようになってきている。 日頃、どんな天気でも外出してきたことで、散歩による運動の習慣や傘を差して歩く技能を身に付けることができた。 掃除道具の使い方を練習し、技術の向上に繋がった。 長期休みやイベント時に、包丁で食材を切ったり、計量カップで水や調味料の分量を量ったりするおやつ作りをした。
	生活リズムや生活習慣の形成	リハビリテーションの実施	
	基本的な生活スキルの獲得	基本的な生活スキルの獲得	
		構造化等により生活環境を整える	
運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上	体育館でダンス教室に参加したり、公園でサッカー等の球技、縄跳び、鬼ごっこやリレーなど集団で運動したりする機会を設け、楽しみながら運動技能を向上させることができた。 駅や周辺を徒歩で散策、夏休みには砂浜や海岸に行き歩いたり走ったりし、正しい姿勢の保持や、歩き続ける体力を向上させることができた。また、景色の良い場所を散策し情操支援にも努めることができた。
		姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	
	姿勢と運動・動作の補助的手段の活用	身体の移動能力の向上	
		保有する感覚の活用	
保有する感覚の総合的な活用	感覚の補助および代行手段の活用		
	感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応		
認知・行動	認知の発達と行動の習得	感覚や認知の活用	季節の飾りの制作では、必要な材料や時間を図書館で調べ計画することができた。はさみやカッターなどを使用する場面を取り入れ、安全な使い方の理解を深めることができた。 日頃のおやつのお金のお金の支払いの練習をしたり、店舗への買い出しやイベントの昼食などで実際にお金を支払ったりと機会を多く設けた。予算に合わせて商品の金額や個数を選択したり、税込表記を確認して伝えたりすることができた。
		知覚から行動への認知過程の発達	
	空間・時間、数等の概念形成の習得	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	
		数量、大小、色等の習得	
対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	認知の偏りへの対応		
	行動障害への予防及び対応		
言語・コミュニケーション	言語の形成と活用	言語の形成と活用	活動に参加しての気付きや感想を発表する場や、自分の作品を説明する場を設け、気持ちを表現できるようになったり、説明に使う言葉の語彙が増えたりしてきている。 やりたい活動や行き先について話し合った。班のメンバーがみんなが発言し、納得のいくスケジュールをつくることができた。振り返りでは、イベントの目標や感想について発表したり、考えを作文したりすることで自分の思いを表現できた。
		受容言語と表出言語の支援	
	言語の受容及び表出	人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	
		指差し、身振り、サイン等の活用	
コミュニケーションの基礎的能力の向上	読み書き能力の向上のための支援		
	コミュニケーション機器の活用		
人間関係・社会性	他者との関わり(人間関係)の形成	アタッチメント(愛着行動)の形成	ルールを守って集団遊びをする練習としてレクリエーション(フールバスケットやカードゲーム)やSSTを取り入れた。互いにルールを守るよう声かけをしたり、みんなが楽しめるルールのアイデアを出したりした。 店舗や公共施設を利用し、ルールやマナーを守る練習を行った。夏休みには、地域の七夕祭りにも参加し季節の行事を楽しんだ。
		模倣行動の支援	
	自己理解と行動の調整	感覚・運動遊びから象徴遊びへの支援	
		一人遊びから協同遊びへの支援	
仲間づくりと集団への参加	自己の理解とコントロールのための支援		
	集団への参加への支援		

1 上記以外にも個別支援計画に沿った支援を適宜行っております。